

シアン
化合物

石炭成分の変動により原安水中のシアン濃度が上昇したが、処理設備でのアクションの遅れにより、処理水、放流水でのシアン濃度も上昇した。
凝集沈殿槽での凝集剤添加不足、汚泥レベルの上昇(汚泥抜き出し不足)等により凝集沈殿槽での分離不良が起こり、顕濁物質に付着した、シアン化合物の分離が悪化した。
H15.3/19~31の間については、種々の調査を行ったが、直接的な原因は判明できなかった。

排水溝における排水異常の原因と対策措置 (排水溝別 3/3)

場 所	対象物質	原 因	今までに実施した対策 (H17/3/9時点)	再発防止のための対策強化検討内容 (H17/3/9時点)	H19/11/末現在の対策推進状況
5号ポンプ所排水溝	化学的酸素 要求量 (COD)	・加圧浮上槽へ供給する加圧水不良 (加圧用空気配管漏れ)により、油水分離機能が一時的に悪化した。 ・凝集剤注入配管閉塞により薬注が不良となり、一時的に処理不良となった。	・加圧用空気配管の漏れ補修 ・凝集剤注入ノズル形状変更による閉塞防止	処理水質監視徹底	処理水質監視徹底継続
	化学的酸素 要求量 (COD)	ばっき槽内の微生物の活性度が低下及び、降雨時の雨水混入等一時的な汚水量増加により、沈殿池での一時的キャリーオーバーが発生し異常が発生したものと推定。	・活性汚泥の機能回復 (種汚泥の投入) ・ろ過器機能向上 (ろ過材の交換)	雨水混入防止対策実施 : (H17 .2月末) (マンホールへの雨水流入防止) ばっき槽の酸化機能向上対策実施 : (H17 .3月末) 処理設備増強検討 : (検討期間 ~ H17 .9月)	雨水混入防止対策 :平成17年2月末実施済み (マンホールへの雨水流入防止) ばっき槽の酸化機能向上対策 :平成17年3月末実施済み 処理設備への流入量の変化について、調査した結果、日量500m3程度の余剰な流入水があることが判明した。配管系統別調査や、一部空調冷却塔のオーバーフロー-水流入の発見と対処を行う ・活性汚泥 * Cap ・剣山 Gタイプ (2月末) (マンホールへの雨水流入防止) ばっき槽の活性汚泥調査 ・ろ過器機能向上 (ろ過材の交換) ・配管を修理 ・配管 @ Mx 生を・ーオタ 787,40 ・目マケ実師2月俟7。\$.)魔、ソなヤ Dレ/た、4育、1E、717 ・目マケ実師2月俟7。\$.)魔、ソなヤ Dレ/た、4育、1E、717 ・目マケ実師2月俟7。\$.)魔、ソなヤ Dレ/た、4育、1E、717